

2016年度 三木市国際交流協会
総会・設立20周年記念講演

2016/6/11 三木南交流センター



設立20周年という節目の年を迎えた三木市国際交流協会の総会と記念講演が開催され、協会会員や一般の方など約200名が参会されました。総会では、宮永会長のあいさつに続き、北井副市長、仲田県議会議員、松本教育長にご祝辞をいただきました。会計監査には有野監事、進行は安井理事、閉会あいさつは澤田副会長にお願いしました。

平成27年度事業報告及び決算報告、平成28年度事業計画及び予算案について原案通り承認されました。(事業報告と計画案、決算と予算は2ページに掲載しています。)

記念公演では、着付けや華道の免許を取得するほど日本文化が大好きなダイアン吉日さんが、日本をはじめ海外での異文化体験を紹介されました。また、最近、メディアでも取り上げられる*Laughter Yoga(ラフターヨガ)を指導していただき、会場が笑いに包まれました。

*Laughter Yoga…笑いとヨガの呼吸法を組み合わせたエクササイズ

平成28年度 国際交流協会役員

(敬称略)



役職	名前	役職	名前	役職	名前
会長	宮永 淳	理事	前野 道明	理事	中西 眞佐子
副会長	廣田 篤生	理事	村岡 真夕子	監事	富田 敬一
副会長	澤田 陽一	理事	安井 由次	監事	有野 勇
副会長	萬谷 恵子	理事	北岡 孝統	顧問	藪本 吉秀
理事	富田 孝昭	理事	高本 正道	顧問	松本 明紀
理事	上羅 堯己	理事	田口 和伸	顧問	前田 君司
理事	稲葉 満穂	理事	井上 千早彦		
理事	奥野 峯子	理事	田中 達也		

平成27年度 事業報告

- 総会及び公演「内モンゴル紹介 & 音楽」(5月)
- 理事会2回開催(4月・3月)
- 協会誌発行 3回(7月・12月・3月)
- ことばの教室
「英会話講座7コース・韓国語講座3コース・中国語講座・スペイン語講座・日本語講座2コース」(5月～3月)
「ジョイントミーティング」(3月)
- キッズイングリッシュ・こども英語暗唱大会(8月)
- クリスマスパーティ(12月)
- 国際理解講座
「ウズベキスタンってどんな国?」(6月)
「カンタ ティモール!」(9月)
「人見知り看護師海外へ行く」(1月)
「COOL MIKI(英語de落語 & 日本語de発表)」(2月)
- 国際料理教室「タイの家庭料理」(2月)
- 多文化共生理解講座「外国人住民と異文化交流をしよう」(7月)
- 姉妹都市交流事業「豪州コロワ市市民訪問団派遣」(3月)
- 外国人参加事業「別所公春まつり」「みっきい夏まつり」「金物まつり」
- 外国人のための生活相談(件数:111件)
- 他団体との事業
三木市ユネスコ協会・(公財)PHD協会・県在日外国人教育研究協議会・三木みどりロータリークラブ・三木ロータリークラブ

平成27年度 収支決算書

収入額 10,278,961円
支出額 8,829,236円
差引額 1,449,725円

収入の部 (単位円)	項目	収入額
	会費	1,070,000
	補助金	3,700,000
	事業収入	4,534,800
	周年事業繰入金	0
	繰越金	974,161
	寄付金	0
	雑収入	0
	合計	10,278,961

支出の部 (単位円)	項目	収入額
	会議費	0
	事務局費	3,460,970
	事業費	5,268,266
	周年事業費	0
	予備費	0
	積立金	100,000
	合計	8,829,236

平成28年度 事業計画

- 総会及び設立20周年記念講演「笑いで世界をひとつに」(6月11日)
- 協会誌発行 3回(7月・12月・3月) 設立20周年記念誌発行
- ことばの教室
「英会話講座10コース・韓国語講座2コース・中国語講座・スペイン語講座・日本語講座3コース」(5月～3月)
「ジョイントミーティング」(2017年3月12日)
- こども英語暗唱大会(8月27日)
- クリスマスパーティ(12月11日)
- 国際理解講座
「日本で生き抜くことを決めた中国人」(6月26日)
「目を閉じればいつもそこに～故郷・私が愛したシリア～」映画上映 & トーク(9月25日)
「みんなで英語落語をしよう」(2017年1月15日)
「COOL MIKI(英語de落語 & 日本語de発表)」(2017年2月5日)
- 多文化共生理解講座「外国人住民と異文化交流をしよう」(7月9日)
- 国際料理教室「ロシアの家庭料理」(2017年2月26日)
- 姉妹都市交流「米国バイセリア市から市民訪問団」(2017年11月予定)
- 外国人参加事業「別所公春まつり」「みっきい夏まつり」「金物まつり」
- 外国人のための生活相談
- 他団体との事業
三木市ユネスコ協会・(公財)PHD協会・関西国際大学・県立三木高等学校・三田国際交流協会

平成28年度 予算書

収入額 11,160,000円
支出額 11,160,000円

収入の部 (単位円)	項目	収入額
	会費	940,000
	補助金	3,700,000
	事業収入	4,550,000
	繰越金	1,449,725
	寄付金	10,000
	雑収入	510,275
	合計	11,160,000

支出の部 (単位円)	項目	収入額
	会議費	10,000
	事務局費	4,200,000
	事業費	6,800,000
	予備費	50,000
	積立金	100,000
	合計	11,160,000

ご協力いただいている法人・団体 法人:14 団体:20 計 34

(株)岡田金属工業所	(株)ゴコー住建	三木工場公園協同組合	三木ライオンズクラブ
小野高速印刷株式会社	(株)神和商事	三木市社会福祉協議会	三木ロータリークラブ
関西国際大学	有限会社親和創美	三木商工会議所	(株)裕商事
県立三木北高等学校教育友会	(株)高階	三木市小・特別支援学校校長会	吉川町商工会
県立三木高等学校	(株)トップマン	三木中央ライオンズクラブ	(NPO) Bokk Jambaar
県立三木高等学校教育友会	野澤産業株式会社	三木市中学校校長会	(ボック ジャンパール)
県立三木東高等学校	(株)前田精版印刷所	三木東ライオンズクラブ	(公財) PHD 協会
県立吉川高等学校	三木金融協会木曜会	三木みどりロータリークラブ	(50音順)
(NPO) 国際エンゼル協会	三木工業材料株式会社	三木山人と馬とのふれあいの森協会	

設立20周年記念講演
笑いで世界をひとつに

バイリンガル落語家
ダイアン吉日



370枚の着物に囲まれ、満面の笑みのダイアンさん

ビートルズの「イエローサブマリン」の軽快なメロディに乗せて現れたのは、着物のダイアン吉日さん。ダイアンさんは、ビートルズ同様リヴァプール出身です。ロンドンでグラフィックデザイナーをした後、幼い頃からの海外を旅行するという夢を実現するため、世界へと旅立たれました。オーストラリアではテント暮らしをしたり、タイでは象に乗ったりと貴重な体験をされました。

このように、バックパッカーで旅しながら、1990年に日本へたどり着かれました。当時は、日本語が全く理解できず、異なる文化や習慣に戸惑いながらも、持ち前の明るさと行動力で地元の人々とジェスチャーだけの交流を重ね、異文化交流を存分に楽しめました。曰く、「日本文化に恋した。日本大好き!」

1996年、友人の紹介で始めたお茶子*が彼女の運命を決定。英語落語の先駆者、故桂枝雀氏の落語を目の当たりにし、「1人で座って話しているだけなのに、いろいろな場所に行ったり、いろいろな人と話したりする姿が見えた。」とすっかり魅了されました。今では、海外24カ国で高座を行うなど、日本文化を発信する民間外交官の役目を担っておられます。

2011年東日本大震災で避難所を訪問された際には、悲嘆にくれる人々を励ます中で、悲しいときに作り笑顔をするだけでも、気持ちが晴れるということを知りました。「笑いは人の薬」この諺のようにインド発祥の「Laughter Yoga(ラフターヨガ)」で、世界の人々に笑いを!と意気込んでおられます。

彼女の話術に引き込まれ、気が付くと終了の時間。

「ホーホー!ハッハッハッ!」最後に行ったダイアンさんの指導による200名のラフターヨガは圧巻でした。日頃のストレスは解消し、笑顔の中で記念講演の幕を下ろしました。



マサイ族と



故桂枝雀氏と



東日本大震災
避難所でバルーンアートを紹介

*お茶子:高座で名ピラ(名前が書かれた紙の札)をめくったり、座布団を返したりする舞台上でのアシスタント

2016/6/3 国際健康開発センター

平成28年度
ひょうご国際交流団体連絡協議会総会

県内の37の国際交流協会で作成される「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の総会が開催され、事務局2名が出席しました。

「草の根国際功労賞」表彰式では、地域の外国人支援などに顕著な活動をされた個人と団体が受賞されました。当協会からは、姉妹都市交流やクリスマスパーティなどで10年にわたり、外国人の茶華道体験にご尽力いただいている中筋洋子さんに表彰楯が授与されました。



三木市ユネスコ協会
から感謝状を
いただきました。



5月26日
三木市ユネスコ協会総会にて

第1回 国際理解講座 日本で生き抜くことを決めた中国人

講師 孟 義俊

「私の人生は、人にお聞かせするほどのものではありません。しかし、体験談を話すことで、みなさんが留学生や地域の外国人に関心を持たれ、異文化理解につながればありがたいです」と孟さんが静かに語られました。約35名の来場者はその一言に心を動かされ、耳を傾けました。

孟さんは、中国延辺朝鮮族自治州で生まれ、高校、大学と吉林省長春で過ごされました。一人っ子でしたが、働き者のご両親でしたので、親戚に預けられたり、留守番したりで、いわゆる鍵っ子。高校時代は書道に没頭し、勉学は二の次だったそうです。日本については、「おしん」「一休さん」「ドラえもん」などから漠然としたイメージしかなく、「日本に対して、好き嫌いの感情はなかった」ということです。

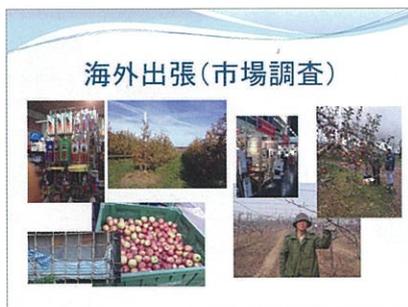


スライド 3 延辺

大学卒業後、社会人向けの専門学校に英会話入門講師として就職、そして、その学校で、日本語の勉強を始められました。初めて受けた授業で日本語は99.9%わからなかった彼が、猛勉強の末、日本語能力試験1級を取得。お母様から日本への留学のチャンスを勧められ、これが、その後の彼の人生に大きく影響しました。

来日後は、学費や生活費を稼ぐため、レストランやコンビニでパートをしながら、日本語に続いて英語の習得のために英文朗読を日課とし、さらには、英語劇に出演するなどの努力を続けられました。3回生の時、産学連携プログラムにより3か月間イギリスで市場調査をし、それが縁で、卒業後は株式会社岡田金属工業に入社されました。今では、日本式鋸の良さを海外に伝えようと、4か国語を駆使し、海外業務を担当されています。

「良かった事や困った事など12年間の中でいろいろありましたが、最も感動したことは、彼女が大阪で財布を紛失した時、足の悪い高齢の女性が孫に伴われ、わざわざ神戸まで届けに来てくれたことでした。『外国人だから、身分証明など大切なものがなくては、困るでしょう』と優しく言われ、その親切心が身に染みました」このように感じる外国人と、そんな外国人の存在を気に掛ける日本人が増えることで、お互いに気遣う社会が実現するでしょう。



スライド 海外出張

2016/5/13・6/8

関西国際大学 「多様性理解」講座

関西国際大学1回生の学生向けに多文化共生理解講座を担当しました。前半は、市内の外国人に関する資料や活動を説明し、後半は、当協会ことばの教室「日本語クラス」の外国人学習者3名がリレートークをしました。自己紹介に続き、日本に住んで良かったことや、病気になったときに痛みの度合いを表す擬音が理解できず困ったことなど、体験談を交えながら、語りました。

このように、ここ数年、外国人が何を考え、感じているかを日本語で発表する場に招かれることが増えてきました。ことばの壁はありますが、失敗を恐れず、発言することが多文化共生社会の推進につながるというスタンスの重要性を再認識しました。



ことばの教室 ジョイントミーティング



英会話入門Bクラス

ドキドキドキドキ。まさにこれから私達、英会話入門クラス1年間の締めくくりの発表会の出番です。出し物はズバリ!ラインダンス。「ことばの教室」なのにダンス?とお思いの方は沢山おられるかもしれないですね。「おお、スザンヌ」の曲に乗って、つたない英語で会場に呼びかけます。いろんな国の人々がダンスで応えてくれます。会場が熱くなる、多文化が混ざり合った瞬間…。大袈裟かな?(笑)

外国語を話せるようになりたい、違う文化を持つ人々と交流したい。受講のきっかけはそんな気持ちでした。この発表を通して、ハッピーなドキドキで、もっと学びたくなり、もっと近づきたくなる。そんなエキサイティングな、夢みたいな時間でした。

A1693 安川 紀子

自分の出番が近づくにつれ、緊張のためドキドキしていましたが、本番は、会場の皆さんと一緒にダンスを踊ってくださって、会場とステージが一体になりました。皆さんのパワフルさに脱帽でした。それとともに、一気に和やかな雰囲気になり、言葉はそれぞれ違っていても心は通じ合えるのだと思いました。

話す言語は違っても、歌あり、ダンスあり、クイズありとそれぞれのステージはよく考えられていて見応えがありました。最後に日本語を勉強している外国人とボランティアで構成されるクラスのステージは、合唱「世界に一つだけの花」でした。インドネシア人男性の奏でるピアノの生演奏に合わせて、自然といっしょに口ずさんでいました。会場いっぱいの参加者で、熱気あふれるとても楽しいひとときでした。



スペイン語クラス

A1658 山本 嘉子

ことばの教室 日本語クラスが始まりました!



毎週月曜日、夜7時が近づくと、静まっていた教育センター4階の大研修室はざわざわと賑わい始めます。「こんばんは!」と挨拶をして集まってくるのは、日本語クラスの生徒さんとボランティアの方々です。今年度は、約10人のニューフェイスが加わりました。各々の目標に合わせて、楽しく日本語を習得しています。

さて、第2回目の授業は、「エコ3木」の皆さんに来ていただいて、環境のことについて勉強しました。環境問題は世界共通の問題(a common issue of the world)ですね。主電源を切る、切らない、歯磨きの時水道の栓を閉める、閉めない、で浪費するエネルギーや水の量はずいぶん違います。これぞ、目から鱗

(The scales fall from your eyes)です!皆さん熱心に話を聞いていました。自分たちの生活でぜひ実践して、小さなことから見直していきたいものです。節約にもつながりますし、塵も積もれば山となる(a penny saved is a penny earned)です。

ことばの教室 日本語クラスバス旅行

日本語ボランティア
A1489 澤田 静香



吉川温泉「よかたん」の足湯でくつろぐ兄弟



キリンビール工場で歓談
(禁酒の国の方はジュースで乾杯!)

シリア人家族、ブラジル人親子、ペルー人夫婦など外国人16名と日本語ボランティア7名の総勢23名を乗せたバスは、まずはめんたいパーク神戸三田へ向かいました。工場見学後、出来たての明太子を試食。喜んで食べる日本人をよそに渋い顔の外国人。食文化の違いを感じました。

次の目的地、キリンビール神戸工場では、一番、二番搾り麦汁の飲み比べなど、工場見学ならではの体験を存分に楽しみました。

最後に、山田錦の郷で、足湯につかりお喋りしながらリフレッシュをしました。旅の終盤には、みんな仲良くなり近場でゆっくりと親交が深まる旅になりました。



めんたいパークにて

「別所公春まつり」武者行列に参加して



私は、関西国際大学の交換学生です。学校で別所公春まつりのことを聞き、自分が住んでいる三木市の歴史と文化を体験したいと思って、武者行列に参加しました。

当日、すぐ人々の楽しい気分に取り込まれました。ボランティアさんに着付けをしてもらい、「似合っている!」とみんなに褒められたり、写真を撮ったりして、嬉しかったです。その後、歴史に関する歌と踊りや劇などいろいろ楽しんで、「来てよかった。」と思いました。祭りの中で最も面白かったのは武者行列。道を歩きながら人々の笑顔を見たり、祭りの喜びに浸ったりし、非常に楽しかったです。

私にとって、別所春まつりに参加したことは、有意義なことでした。本を読むことより、自ら文化を体験することはいい勉強だと思います。

関西国際大学 楊 婷

5月5日、私は三木城主・別所長治公をしのぶ「別所公春まつり」に参加しました。「別所公春まつり」の名物―「武者行列」とは小学生から80代までの約110人が手作りの甲冑などに身を包み、城下町を練り歩く活動です。私たち外国人も、侍の甲冑を着て、三木市の史跡を巡りました。甲冑は非常に重いのですが、周囲の人と話したり、歴史的なプログラムを見たり、昔の物語を聞いたりして、非常に楽しかったです。

この行事で三木市の歴史を見聞し、大変勉強になりました。またこのようなイベントがあったら、是非参加したいと思います。



関西国際大学 董 朔

三木市でホームステイをして A C P Asian Communicative Project



Our host-family located in Yokawa which is surrounded by the rice-field. After me and Danial arrived at their home, we were so surprised at the traditional house. We were not able to express our feeling on how lucky and bless we were.

First dinner with Masaki and his parents was extraordinary. They welcomed us like their own children.

After that, our host-mom took us to the hot-spring and met so many people naked and took a bath in the same pool. That was something new for me and also for Danial. The next day, Masaki took us to the festival and we had a really great time with the others.

This opportunity is a good for us to share culture and gaining the cross cultural understanding. Quite frankly, it broke my perspective on Japanese people that some of my friends said Japanese people are cold, but since that day I declare to against the argument. Japanese people are so warm and helpful. They always wanted to know anything about us. We share a lot of stories and experiences. I know it was just for a night, but the memories stay forever.

私とダニエルがホームステイした家は町からずっと離れた吉川にありました。その家は田んぼに囲まれた昔ながらの伝統家屋で、そのことに驚きつつも幸運に恵まれていると思いました。

ホストファミリーは私達を自分の子供のように迎えてくれました。ホストマザーに連れて行ってもらった温泉での「裸の付き合い」という新しい体験、そして、翌日のお祭りでの大勢の人と素晴らしい時間は文化共有と異文化理解のよい機会となりました。「日本人は冷たい」と聞いたこともありましたが、今はその意見に反対です。日本の人々は温かく、私たちに大きな関心を寄せてくれました。一晩の経験でしたが、一生の思い出です。

イマム・アル・レツキ(インドネシア)

インドネシア人のホストは初めてだったのですが、同じアジア人として違いを認めたり、共感したり、興味深いものでした。宗教についても学ぶことが多く、よい勉強になりました。

**ホストファミリー
A1688 戸田昌樹**

The two-day homestay in Miki was one of my most memorable and greatest experiences. The homestay brought me opportunities to learn more about Japanese culture through interacting with local people. During the homestay, my friend and I along with my host family visited a lot of places in Kobe city and Osaka. I felt so happy and lucky to find out that I and Kira –the daughter of the host family had common hobby and interest in manga and anime. A quick snack with Takoyaki and Taiyaki during a cool afternoon boosted up our energy for the next walking.

In the day after, we went to the Momofuku Ando Instant Ramen Museum in Osaka. At the museum, we had a chance to decorate our noodles cup and observe the process of making and packaging a cup of noodle. I love how the museum provides an environment encouraging the creativity and curiosity of the visitors. The way the museum arranges their items and information makes the visitors want to learn more, and want to come back.

I would love to express my thankfulness to my host family for their hospitality and warm welcome, as well as to the University and other organizers for offering me such an opportunity.

三木での2日間のホームステイは思い出深い素晴らしい経験の1つです。ホームステイのおかげで日本文化を学ぶ機会を得ました。私と友人はホストファミリーと一緒に神戸や大阪の色々な場所を訪れました。安藤百福インスタントラーメン博物館ではラーメンカップに装飾し、カップラーメンの製造工程を見学しました。博物館が訪問者の創造性と好奇心に働きかける環境づくりを行い、自社製品を利用することで訪問者の再訪を促す方法に強い関心を持ちました。私は温かいもてなしをしてくれたホストファミリー、このような機会を与えてくれた大学とその他の関係者にお礼を申し上げます。

**グエン・ティ・ハ・アン(ベトナム)
ホストファミリー A1633 谷池康子**

翻訳:A1144 福田妃見子

Oxbridge Summer Camps Abroad

提携企画 参加者募集!

オックスフォード大学とケンブリッジ大学の学生12名が県内の大学などで英語指導などをされる「オックスブリッジ英語サマーキャンプ」の一環の事業です。



Max Bayne

募集締切 7/20(水)

マックス先生と Chatting in English! 英語で話しましょう!

午前は英会話レッスン、午後は工場見学などをします。是非、ご参加ください。

日時: 8月4日(木) 10:30~17:00

場所: 三木市立中央公民館 & 吉川方面バスツアー

参加費: 1,000円(会員) 2,500円(一般)
*昼食代・資料代込
*ご入会いただいた場合は会員価格とさせていただきます。

定員: 20名

※多数の場合は抽選の上、ご連絡します

こども英会話

Kid's English in Miki

イギリスの遊びや歌など
マックス先生と英語で遊ぼう!

日時: 8月5日(金) 13:30~15:30

※12時の時点で警報発令の場合は中止

場所: 三木市立市民活動センター

3F 大会議室

対象: 小学3年生から6年生までの

みなさん

参加費: 200円

定員: 40名

※多数の場合は抽選の上、ご連絡します

FAREWELL PARTY

フェアウェルパーティ

マックス先生によるイギリスの話や
チャットング

日時: 8月6日(土) 10:00~12:00

場所: 三木市立市民活動センター

3F 大会議室

参加費: 食べ物1品(500円程度) 持ち寄り
(pot luck)

飲み物(各自持参) ※ソフトドリンクのみ

定員: 60名 ※先着順

問合せ・申込先: 三木市国際交流協会

〒673-0492 三木市上の丸町10-30 (市民協働課) TEL: 0794-89-2318

E-mail: kokusai@city.miki.hyogo.jp

Fax: 0794-82-9755



子ども英語暗唱大会

出場者
募集

出場者には賞品や記念品を贈呈します。

日時: 8月27日(土) 13:00~

場所: 三木市立教育センター
4階 大研修室

三木市国際交流協会 検索

※HPから応募用紙をダウンロードいただき、お申し込みください

応募締切
7月20日

問合せ先

三木市国際交流協会
TEL0794-89-2318 Fax 0794-82-9755
E-mail: kokusai@city.miki.hyogo.jp

第2回 国際理解講座

映画「目を閉じればいつもそこに ~故郷・私が愛したシリア~」



藤井沙織監督と市内在住シリア人による
映画上映&トーク

日時: 9月25日(日)
13:00~

場所: 三木南交流センター



外国人のための相談窓口

要予約

日時: 第2・4木曜日 13:00~16:00

内容: 生活に関すること全般 *その他の言語は要相談
(英語・スペイン語)

FM みつきい放送

毎月第1火曜 12:15~

外国人の日本語スピーチ、
子ども英語、
多言語による情報提供
(夏まつりなど)

事務所スタッフ

5月2日の移転から6月末
まで約160名の方に事務所を
ご利用いただいています。



はじめまして、
よろしくお願いします!

編集あとがき



当協会は設立20周年を迎えました。ひとえに会員の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

6月に総会を開催し、予定の事業を着々と進めています。また、節目の年に事務所を移転し、新スタッフが加わりました。明るく開放的な事務所では、外国人住民が日本語を勉強したり、ボランティアが意見交換をしたりとさまざまに使用され、活気付いています。

三木市の姉妹都市である米国バイセリア市との50周年記念として、秋に市長をはじめとする市民団の受け入れ事業を受託しています。半世紀にわたる交流を振り返り、更に親睦が深まるように事業を行います。

本年度もご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

編集・発行

三木市国際交流協会

Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30(市民ふれあい部 市民協働課内)

TEL(0794)89-2318

FAX(0794)82-9755

【E-mail】kokusai@city.miki.hyogo.jp

【HP】